

今週（10月5日から10月9日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが堅調で、出会いレートの水準は、1.227～1.228%程度で安定的に推移した。

ターム物は、期明けとなりレートはやや落ち着きがみられたものの、依然として次の利上げは意識されており、ロングターム物については出合が少なく、1M以内のショートターム物が中心となった。2W～1Mのショートターム物は1.30～1.40%程度、3M以上のロングターム物は1.50%程度での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、5日に410兆円台からスタートした。7日には国債発行等の要因により408兆円台に減少した後は概ね横ばいで推移し、本日も408兆円台での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場GC T/N物の出会い水準は、1.250～1.255%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y475～489回、5Y170～187回、10Y355～384回、20Y180～197回、30Y65～92回、40Y10～19回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。

8日に実施された6M物入札では、無難な結果となり、セカンダリーでは底堅く推移した。

9日に実施された3M物入札では、事前予想対比で強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業や建設業、ゴム製品などの業態で大型発行が行われた。

市場残高は、週を通して24兆円台前半～半ば近辺で推移した。

発行レートは、引き続き1.25%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/5 (月)	69,946.86	3.085	157.80	1.227	1.250	4,108,600
10/6 (火)	70,683.98	3.095	157.92	1.227	1.250	4,108,400
10/7 (水)	70,035.71	3.105	158.46	1.227	1.250	4,084,800
10/8 (木)	69,042.11	3.080	157.87	1.228	1.250	4,087,600
10/9 (金)	69,030.92	3.010	158.10	1.227	1.251	4,082,100

翌週（10月12日から10月16日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/12 (月)	*スポーツの日		*New York祝日(Columbus Day)
10/13 (火)	*9月の貸出・預金動向(日銀 8:50) *9月の企業物価指数(日銀 8:50) *9月のフェイルの発生状況(日銀 16:30)		
10/14 (水)	*9月のマネーストック(日銀 8:50)	5Y物 10/15発行 25,000億円	*9月の米消費者物価指数
10/15 (木)	*小枝審議委員挨拶(熊本県金融経済懇談会 10:30) *8月の機械受注統計(内閣府 8:50)	交付税借入 10/23借入 12,000億円	*9月の米小売売上高 *8月の英月次GDP
10/16 (金)	*植田総裁挨拶(内田副総裁代読 全国信用組合大会 15:30) *9月の業態別日銀当座預金残高(日銀 17:00)	TDB3M物 10/19発行 33,000億円	*9月のユーロ圏消費者物価指数改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/12 (月) 日銀予想							0		
10/13 (火) 弊社予想	0	14,700	14,700	社債等買入 国債補充供給	▲ 200 100		▲ 100	14,600	TB3M発行▲33,000 償還38,000 TB6M発行▲30,000 償還38,000
10/14 (水) 弊社予想	400	▲ 2,000	▲ 1,600	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 9,600	
10/15 (木) 弊社予想	300	62,500	62,800				0	62,800	源泉税揚げ 年金定時払い・社会保障費払い・運営費 5Y発行▲25,000・個人向け国債発行超
10/16 (金) 弊社予想	▲ 200	▲ 1,500	▲ 1,700				0	▲ 1,700	交付税特会借入▲12,000 償還9,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、付利以下の水準では引き続き資金調達ニーズが堅調で、1.227%近辺での出合が予想される。債券レボ市場は、GC T/N物のレートは1.24～1.26%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、16日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、レート水準や発行残高の動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では13日(火)に9月の貸出・預金動向、9月の企業物価指数、9月のフェイルの発生状況、14日(水)に9月のマネーストック、15日(木)に小枝審議委員挨拶(熊本県金融経済懇談会)、8月の機械受注統計、16日(金)に植田総裁挨拶(内田副総裁代読 全国信用組合大会)、9月の業態別日銀当座預金残高などが公表予定である。海外では14日(水)に9月の米消費者物価指数、15日(木)に9月の米小売売上高、8月の英月次GDP、16日(金)に9月のユーロ圏消費者物価指数改定値などが公表予定である。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入